

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和4年2月18日

E59 はこだて えさし **函館・江差自動車道**もへじきこない **茂辺地木古内道路** ほくともへじ **(北斗茂辺地IC～木古内IC)** きこない **が****令和4年3月26日(土)15時に開通します！**

○今回の開通により期待される主な効果

効果1【道南地域の観光活性化を支援】

昨年度開通した函館新外環状道路と一体となり、函館空港から主要観光地までのアクセス強化が図られるなど、道南地域の観光活性化を支援します。

効果2【速達性・安定性向上による救急搬送の支援】

国道228号の急カーブ区間の回避や速達性の向上を図り、函館市内の高次医療施設までの安定した救急搬送を支援します。

効果3【農水産品の輸送効率化を支援】

道内シェアの約7割を占める知内町のニラの輸送時間の短縮、道内シェアの約8割を占める道南地域のマグロの輸送遅延の解消に伴う安定輸送の強化など、広域物流の効率化を支援します。

効果4【緊急時の避難・救援ルートの形成】

津波浸水想定区域を回避する避難及び救援物資輸送ルートを形成するとともに、緊急時における避難場所を提供します。

- ・開通後の各ICの通行方法については **別紙1** をご参照ください。
- ・開通に先立ち、開通記念式、通り初めを開催しますので **別紙2** をご参照ください。
- ・新型コロナウイルス感染症への対策については **別紙3** をご参照ください。

また、今回の開通予定区間に設置するインターチェンジ(IC)名称も決定しましたので併せてお知らせします。

○IC(インターチェンジ)名称(正式名称)

木古内IC ← (仮称)木古内IC

※インターチェンジ名称については、地元自治体の意見を反映し決定しています。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

道路計画課長 たけだ 武田 祐輔 (0138)42-7614 (内線351)広報官 さいとう 齊藤 整 (0138)42-7702 (内線216)函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

E59 函館・江差自動車道

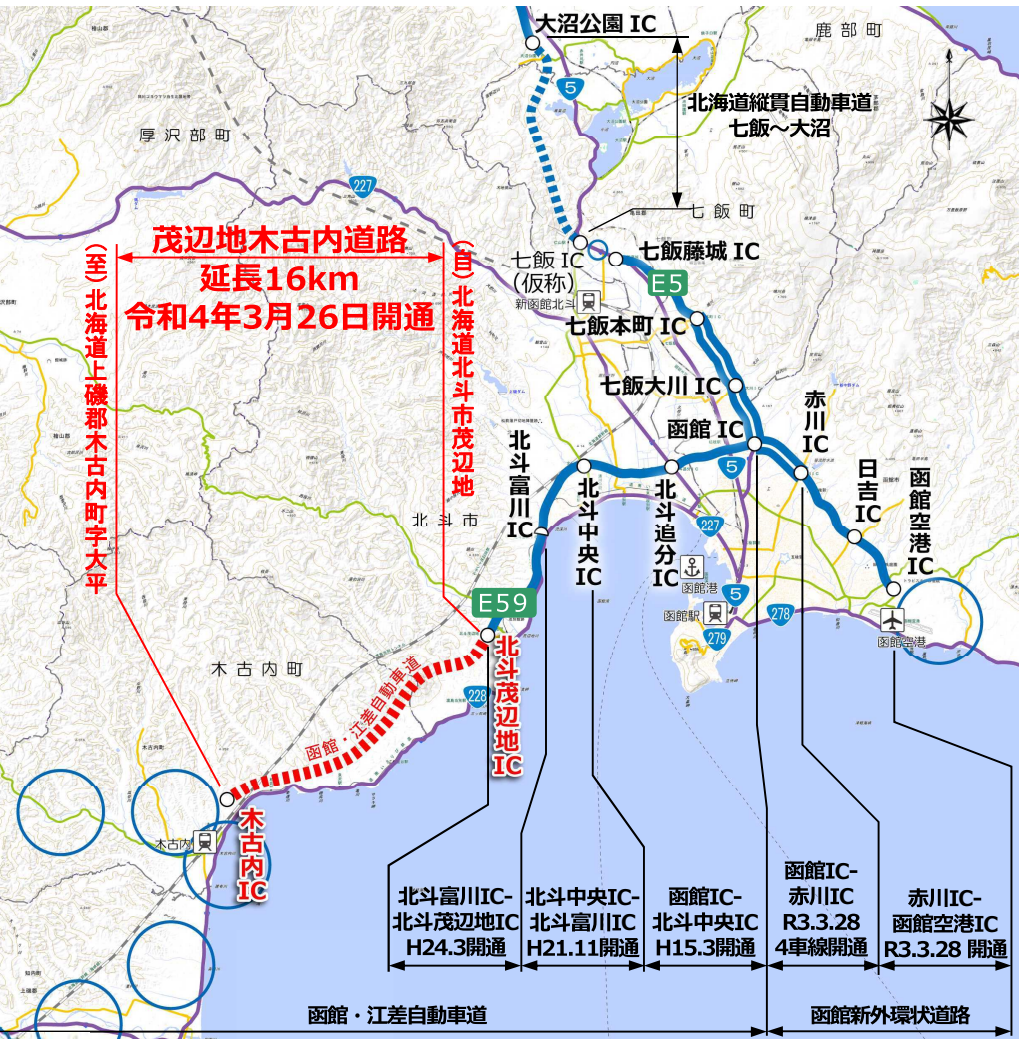
もへじきこない はこだて えさし きこない
茂辺地木古内道路（北斗茂辺地IC～木古内IC）延長16km
令和4年3月26日（土）開通【通行無料】

- 函館・江差自動車道は、函館市を起点とし、江差町に至る自動車専用道路であり、北海道縦貫自動車道や函館新外環状道路と一体となって、圏域中心都市である函館市や近隣都市間を連絡する高速ネットワークを形成します。
- このうち北斗茂辺地IC～木古内ICの延長16kmが、令和4年3月26日（土）に開通することで、高速ネットワークの拡充による近隣都市間の連絡機能の強化を図り、広域周遊観光の活性化、救急搬送の速達性・安定性向上、農水産品の輸送効率化、緊急時の避難・救援ルート形成が期待されます。

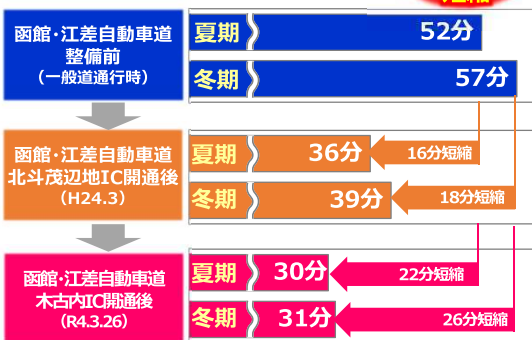
▼事業位置



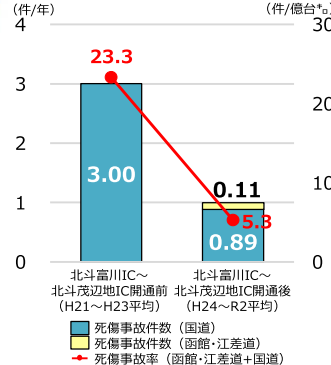
■ 今回の開通区間位置図



■ 函館IC～木古内IC間の所要時間の変化



■ 死傷事故率の比較



資料：開通前はイタルダ事故データ（H21～H23）、北斗富川IC～北斗茂辺地IC並行区間（R228：KP11.940～16.862）、開通後はイタルダ事故データ（H24～R2）、北斗富川IC～北斗茂辺地IC及び北斗富川IC～北斗茂辺地IC並行区間（R228：KP11.940～16.862）を対象

■ 整備状況（木古内IC付近）



■ 標準断面図



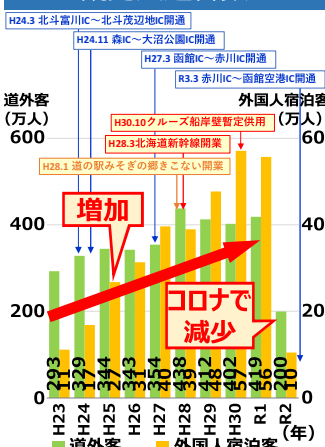
資料：H27全国道路・街路交通情勢調査、北斗茂辺地IC～木古内ICは70km/h、冬期速度はH28～30年度ETC2.0プローブ速度(通常期:4～11月、冬期:12～3月)から算出した冬期低減率を通常期速度に乘じ算出

道南地域の観光活性化を支援

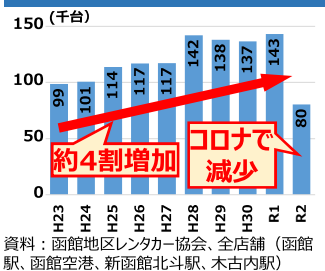
函館・江差自動車道 北斗茂辺地IC～木古内IC 令和4年3月26日 開通

- 道南地域は、北海道新幹線、函館港（クルーズ船岸壁）の整備により、近年、観光入込客数、訪日外国人宿泊客数が増加傾向にあります。
- 木古内町をはじめとする周辺地域では、道南西部9町を巡る観光モデルルートを紹介など、周遊観光活性化に向けた取り組みを実施しています。
- 茂辺地木古内道路の整備により、昨年度開通した函館新外環状道路と一体となり、函館空港から主要観光地までのアクセス強化が図られるなど、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだ道南地域における観光活性化を支援します。

観光入込客数

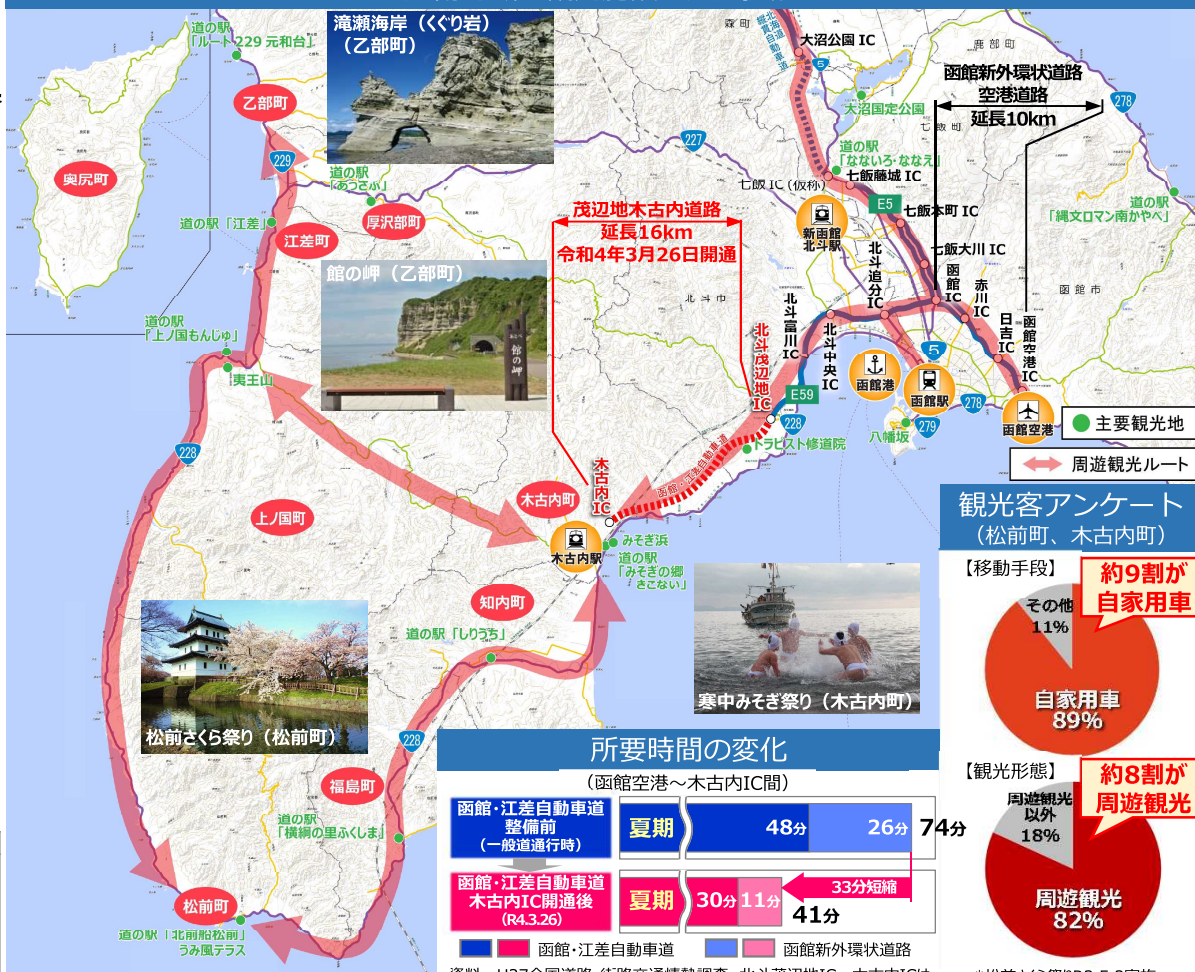


レンタカー貸出数

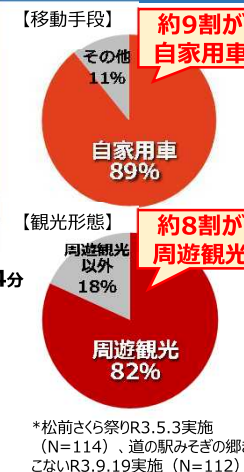


凡	例
高規格道路	
開通済 (4車線以上)	一般国道
開通済 (2車線)	主要道路
事業中	一般道路

道南地域の観光施設・交通拠点



観光客アンケート（松前町、木古内町）



【旅行者事業者】

道外からの観光客の中には、道南西部9町を周遊するレンタカー利用者が多く見られます。道路整備により移動時間の短縮が図られると、立寄り箇所の増加であったり、滞在時間の増加等により、観光消費の拡大に繋がります。アフターコロナに向け、観光需要増加に伴う、周遊観光の活性化に期待しています。

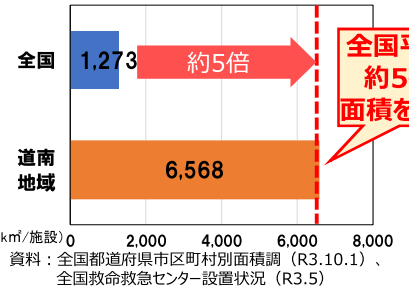
速達性・安定性向上による救急搬送の支援



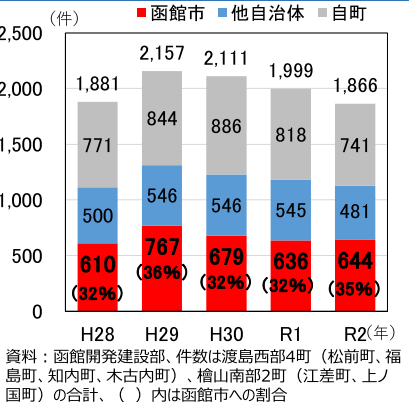
函館・江差自動車道 北斗茂辺地IC～木古内IC 令和4年3月26日 開通

- 道南地域の三次医療施設カバー面積は全国平均の約5倍と广大で、渡島西部・檜山南部から函館市への救急搬送件数は毎年6百件程度あります。
- 天候不良や夜間などによる冬期のドクターヘリの未出勤割合は、夏期の約2倍であり、急カーブにより事故リスクが高い国道228号での搬送を余儀なくされています。
- 茂辺地木古内道路の整備により、急カーブ区間の回避や速達性の向上を図り、函館市内の高次医療施設まで安定した救急搬送を支援します。

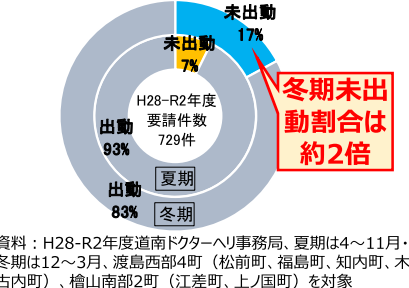
三次医療施設のカバー面積



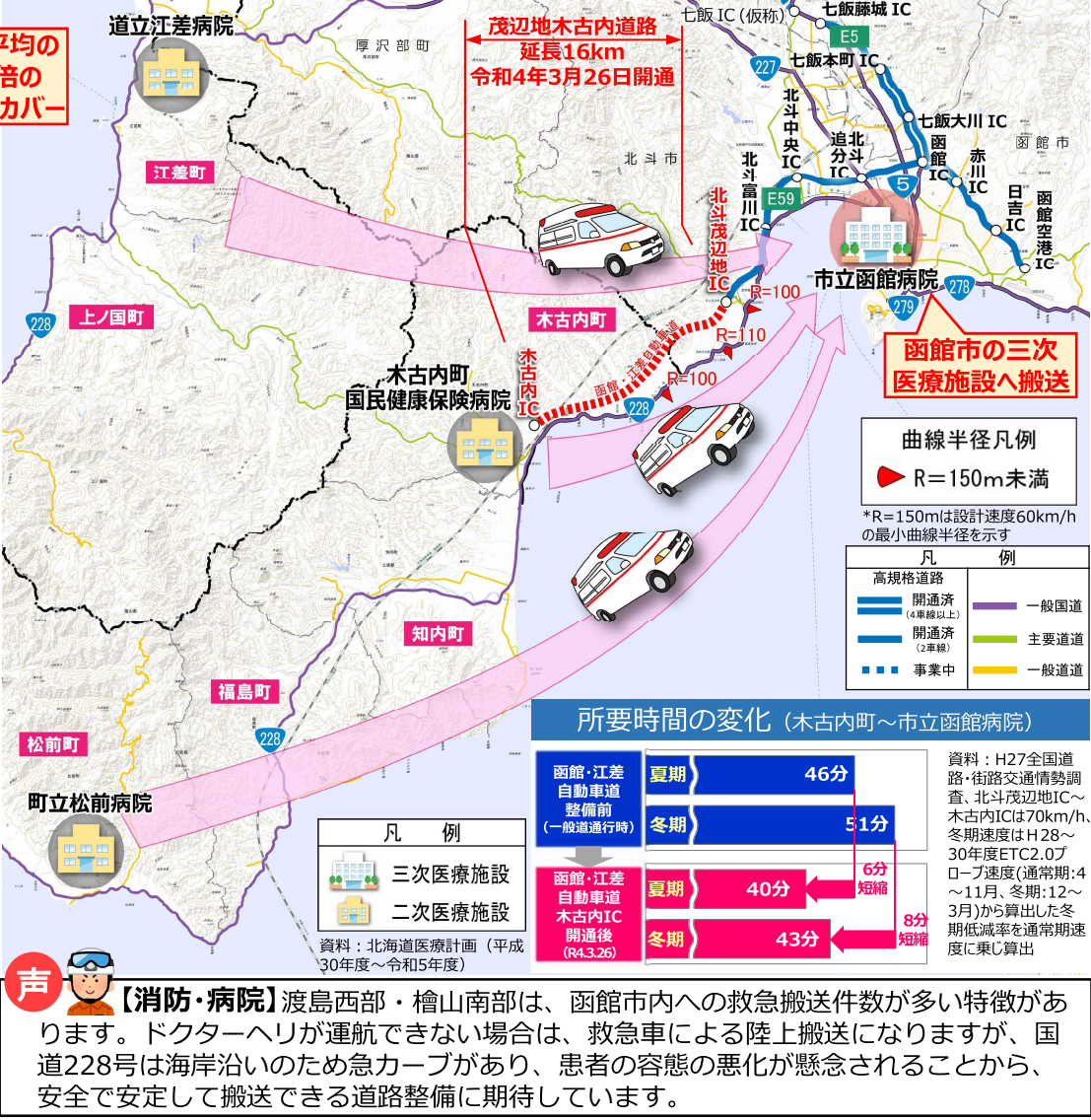
渡島西部・檜山南部からの救急搬送件数の推移



渡島西部・檜山南部のドクターヘリの未出勤割合



渡島西部・檜山南部から函館市への救急搬送



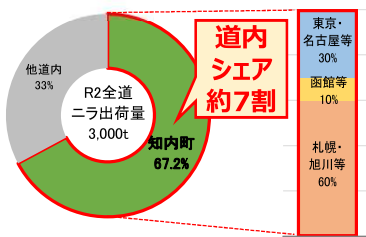
農水産品の輸送効率化を支援

函館・江差自動車道 北斗茂辺地IC～木古内IC 令和4年3月26日 開通

- 道内シェアの約7割、町内農産品取扱金額の約7割を占める知内町のニラは、函館空港・函館港を經由して道外に出荷されており、近年は、ビニールハウスの増設、出荷施設のライン追加により、生産量増加に力を入れています。
- 道内シェアの約8割を占める道南地域のマグロは、約4割が函館港から東京に出荷されており、豊洲市場でも身焼けが少なくと高評価を得ています。
- 茂辺地木古内道路の整備により、道南地域における主要な農産品や水産品であるニラやマグロなどの輸送時間の短縮、冬期の安定輸送など広域物流の効率化を支援します。

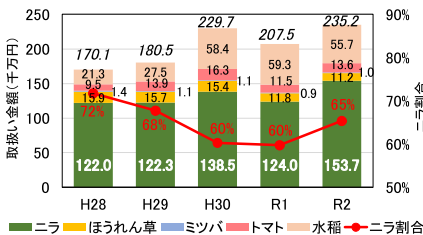
知内町のニラ

(全道ニラ出荷量・出荷先)

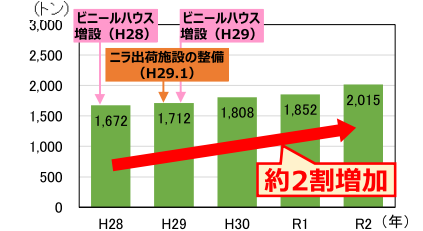


資料：出荷量はR2年作物統計、出荷先は新函館農業協同組合ヒアリング

(知内町の農産品取扱金額の推移)



(知内町ニラ：出荷量の推移)



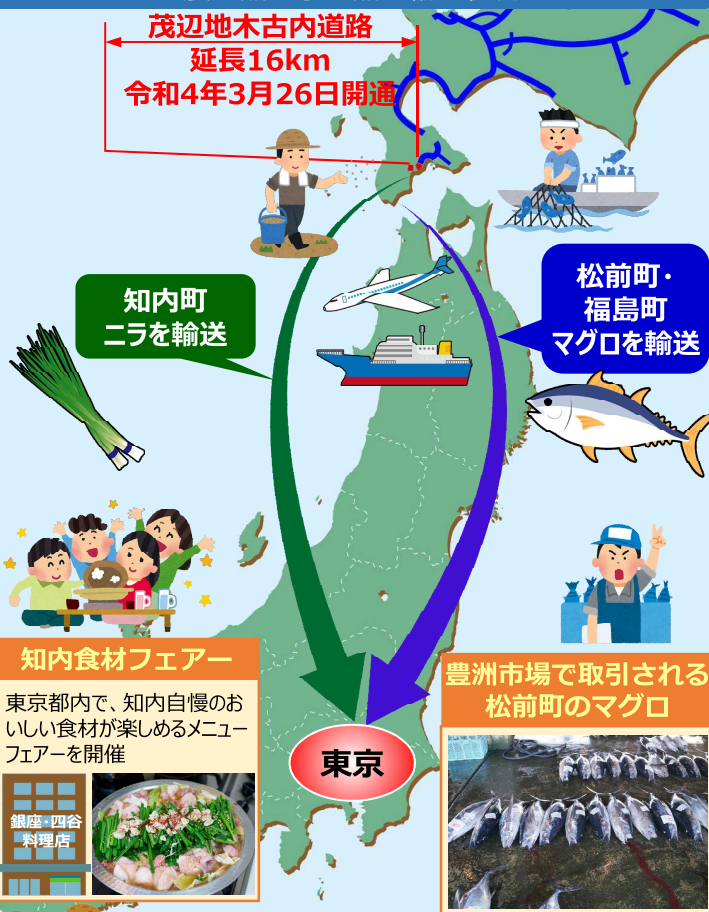
ビニールハウス増設 (H28・H29)

ニラ出荷施設の整備 (H29.1)



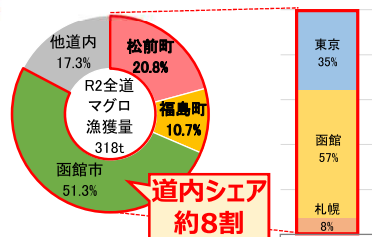
資料：新函館農業協同組合ヒアリング

農産品・水産品の輸送状況



松前町・福島町のマグロ

(全道マグロ漁獲量・出荷先)



資料：漁獲量はR2北海道水産現勢、出荷先は松前くら、函館市漁業協同組合ヒアリング

豊洲マグロ専門仲卸

松前町のマグロは、身が白く変色して品質が劣化する「身焼け」が少なく、仲卸業者からの評価が高いです。



声【漁業協同組合】

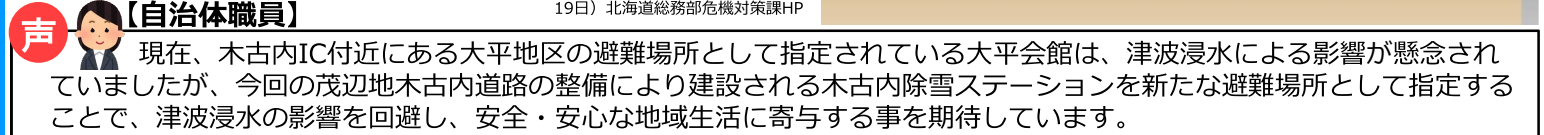
水揚げされたマグロは、当日中に函館からフェリーで出発し、翌日には東京でのセリにかけられます。冬期など遅延が発生すると、セリに間に合わなくなり、鮮度・品質低下による損失が発生するので、安定輸送に繋がる高規格道路の整備に期待しています。

声【農業協同組合】

これまでビニールハウスの増設、出荷施設の整備により、ニラの生産量増加に力を入れてきました。今後も、ビニールハウスの増設、出荷施設の生産ライン追加を考えています。高規格道路の整備により輸送時間が短縮し、作業時間が確保できるため、出荷時間の順守に加え、出荷量の増加が期待されます。



- 緊急時の避難ルート、救援物資輸送ルートの確保、開通済み区間における緊急避難施設

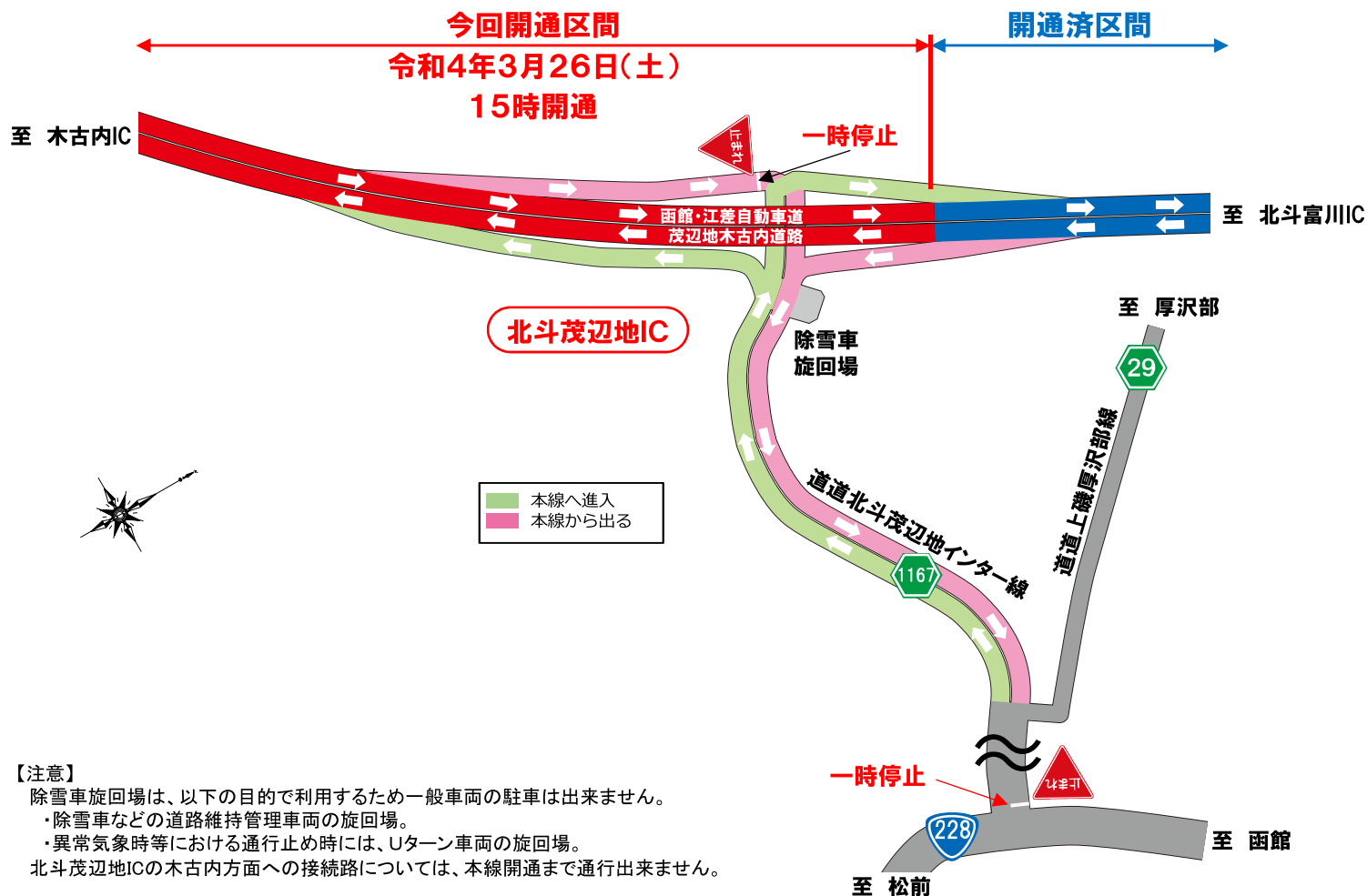


茂辺地木古内道路 各ICの通行について

別紙1

■北斗茂辺地 I Cの通行について

- 本線から木古内IC方向への通行が可能となります。
- 道道1167号北斗茂辺地インター線から北斗富川IC方向に加え、木古内IC方向への通行が可能となります。
- 本線から出る場合は、下図の「止まれ」標識にて一時停止となります。



【注意】

- 除雪車旋回場は、以下の目的で利用するため一般車両の駐車は出来ません。
 - ・除雪車などの道路維持管理車両の旋回場。
 - ・異常気象時等における通行止め時には、Uターン車両の旋回場。
- 北斗茂辺地ICの木古内方面への接続路については、本線開通まで通行出来ません。

■木古内 I Cの通行について

- 北斗茂辺地IC方向への通行が可能となります。
- 本線から出る場合は、下図の「止まれ」標識にて一時停止となります。



【注意】

- 除雪車旋回場は、以下の目的で利用するため一般車両の駐車は出来ません。
 - ・除雪車などの道路維持管理車両の旋回場。
 - ・異常気象時等における通行止め時には、Uターン車両の旋回場。
- 木古内ICから現道(国道228号)までの接続路については、本線開通までは通行出来ません。

開通記念式・通り初めについて

開通に先立ち、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、関係者のみで行うこととしており、以下のとおり 開通記念式、通り初め を開催しますので、お知らせいたします。

- ・開通記念式 日時:令和4年3月26日(土) 開通記念式・鉄入れ式/10時30分～
会場:木古内町ファミリースポーツセンター(上磯郡木古内町字木古内179-1)
 - ・通り初め 日時:令和4年3月26日(土) 通り初め/12時30分～
会場:函館・江差自動車道「茂辺地木古内道路」木古内IC付近 本線上
- ※天候や路面状況等により、通り初めの開始時刻が前後する場合があります。
- ※会場等の都合から、事前の申込が必要となります。取材を希望される方は、3月16日(水)(厳守)までに、下記のFAXまたはメールアドレスに御連絡願います。

件名 : 開通記念式・通り初めの取材申込み

函館開発建設部
広報官 宛
(FAX:0138-40-3619)
(Email:hkd-hk-kouhou@gxb.mlit.go.jp)

下表のとおり 申し込みます。

会 社 名(所 属)	氏 名	電 話 番 号

【注意事項】

- ①□ 開通記念式・通り初めでの取材については、必ず開通記念式会場(木古内町ファミリースポーツセンター)にて受付を行ってください。
- ②□ 取材に当たっては、必ず社名入りの腕章を着用し、現地担当者の指示に従ってください。
- ③□ 開通記念式・通り初め式へ、車にてお越しの際は、誘導員の指示に従い報道関係者用駐車場を御利用ください。
- ④□ 開通記念式・通り初め式での撮影は、進行に支障の無い範囲でお願いいたします。
- ⑤□ 開通記念式・通り初めにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況や北海道の警戒ステージの段階等により、式典を中止させて頂く場合がございます。

新型コロナウイルス対策のご案内

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されております。

当日会場ではご列席いただく皆様の安全のため、下記の対策をお願いいたします。

1. ご来場の際には、必ずマスクの着用をお願いいたします。
2. 受付の前に、体温測定（検温）にご協力をお願いいたします。
3. こまめな手洗い・手指の消毒をお願いいたします。
4. 当日は、ソーシャルディスタンス確保をお願いいたします。
5. 当日は、発熱や咳などの症状がある方は、ご来場をご遠慮頂くようお願いいたします。
6. 当日は、北海道コロナ通知システムへのご登録をお願いいたします。

北海道コロナ通知システムとは？

「北海道コロナ通知システム」は皆様が施設利用やイベント参加の際、QRコードからEメールアドレスを登録いただくと、同日に同一施設を利用した方の中から感染者が確認された場合、北海道からEメールでお知らせするものです。当日会場にてご登録をお願いいたします。



次の点にご留意願います。

ご案内の函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路 開通記念式・通り初めにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況や北海道の警戒ステージの段階などにより、式典を中止にさせて頂く場合がございます。

その際は、別途その旨お知らせいたしますので、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

以上、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。